

は ず し て 、
つ く つ て 、
お ぶ つ て 、
か り て

さあ、旗あげだ！
じゃあ、旗つくろう！

予約不要
参加費
無料

～永国寺はらっぱフェス～

2025 年

5月25日 日

13:30～16:00

場所 高知県立大学永国寺キャンパス
地域交流広場・食堂

※雨天決行

※駐車場はございません。公共交通機関又は
近隣の有料駐車場などをご利用ください。

旗づくりWS

13:30～14:30 (60分)
15:15～16:00 (45分)

みんなで一緒にオリジナルの旗を
作ってみよう！出来上がった旗は、
今後のイベントで使用します。

※絵の具などを使いますので、汚れても
構わない服装でお越しください。

ヒューマン ライブラリー

セッション1 13:45～14:15
セッション2 15:30～16:00

「生きている本」から
お話を聞いてみよう！

トークセッション 「なぜ、一緒に旗づくり？」

14:30～15:15 (45分)

アートセンター画楽 上田 祐嗣 氏
高知県立大学
社会福祉学部 玉利 麻紀 助教

カフェ 200円
(おかわり自由)

カフェサークル caféier(学生団体)が
ホットコーヒーを提供します。

ジュースもあるよ！



WEB サイトはこちら▶

企画 高知県立大学永国寺はらっぱフェスプロジェクト
お問い合わせ先 088-847-8815(企画調整課)



会場 Map



ヒューマンライブラリー

セッション1 13:45～14:15

セッション2 15:30～16:00

誤解や偏見をもたれやすい方々が「生きている本」となって、読者（参加者）と共に、自らの経験について語り合います。

壊れても、私。
— 生きることの再構築 —
せんず

▶ あらすじ

幼少期から周囲の言葉に傷つき、自己否定を抱えながら生きてきた。大学卒業後、精神的に崩れ、パニック障害を発症。それでも壊れた心は金継ぎの器のように修復され、今は希望を持って生きている。これまでの私の回復の過程を話してみようと思います。

17歳の秋祭り 酒の虜になりました

けん

▶ あらすじ

17歳の秋祭り、初めてお酒の味を知り、抱えていたものが解き放たれたような、自分が開放されたような気持ちになった。そこから徐々にお酒のコントロールができなくなったが、アルコール依存症という病気と自覚できなかった。病気という自覚をして、アルコールをやめたが、それはほんの始まりで、生きていく障害となるものはアルコールではないことに気がついた。生きていくための回復がここから始まった。

なんじゃこの人生？

tomo

▶ あらすじ

幼少期からの母との暮らし。家や学校でサバイブしながら「一人で生きて、一人で死にたい」と考えてきた。知的障害や発達障害の診断を受けて、支援される未来を生きる？「なんじゃこの人生？」と頭に浮かび、生き方のシフトチェンジが始まった。

色々抱えてでも GO! ～愛知から高知へ～

イオ

▶ あらすじ

愛知で生まれ高知に来たひきこもりの半生、それは大スベクタクルの様で全然そんな事のない、けれど本人には大変な人生だった…！アレルギー発症、他人の言動に揺さぶられる生活、沈んでいく心。それでもイオが生きているのは何故か？自分史を語るのが生き甲斐になりつつある「生きている本」の語りをお楽しみ下さい。

※上記のうち、3冊の生きている本が登場する予定です。なお、当日、急な体調不良等で本の貸し出しができなくなる場合がありますので、予めご了承ください。

永国寺はらっぱフェスとは？

「永国寺はらっぱフェス」は、高知県立大学永国寺キャンパス地域交流広場（緑の広場：はらっぱ）を中心に、さまざまなイベントを通して「自由な空間で、いろんな人と一緒に”元気の種”を見つけ、たねまきをする」プロジェクトです。気軽に立ち寄りたくするような週末イベントと、メンタルヘルスに関するミニ講話やヒューマンライブラリー等を同時開催し、さまざまな背景を抱える人たちと共生していく地域のつながりを創出していきたいと考えています。